

酪農宮崎

令和8年 7月31日 印刷
令和8年 8月 1日 発行

編集人: 有馬 慎吾
発行所: 宮崎市霧島1丁目1番地1
宮崎県農業協同組合
電話(0985)31-2100
<https://miyazaki.mz-ja.or.jp>
印刷所: 宮崎市大字赤江字飛江田931
宮崎紙工印刷株式会社
電話(代)78-2324

みやざき産牛乳をみんなで飲もう!!
毎月1日は牛乳の日!

NO.657
2026年8月



全国酪農青年女性酪農発表大会

8月号目次

情勢報告	1
全国酪農青年女性酪農発表大会	2(上)
酪農協議会総会報告	2(下)
共済事業実績	3~4
令和8年度前期体型調査・牛群審査	5~8
ナンノ教授のヒトリゴト	9

全酪広告	10
全農広告	裏表紙



MILK UP!
プロジェクト



JAみやざきHP

酪農情勢報告

1. 生乳生産動向

令和8年7月15日現在

指定団体	6月(トン)	前年比(%)	累計(トン)	前年比(%)
北海道	334,569	98.0	1,018,379	98.4
東北	37,038	97.3	113,985	96.1
関東	85,430	99.5	267,303	98.8
北陸	4,954	91.5	15,708	92.5
東海	24,091	100.1	75,235	99.1
近畿	11,205	97.1	35,196	96.4
中国	23,861	99.1	74,844	98.8
四国	8,360	100.3	26,153	99.3
九州	44,907	100.7	141,313	99.7
(内、宮崎)	5,041	90.8	15,993	90.4
都府県	239,847	99.1	749,736	98.4
合計	574,415	98.5	1,768,115	98.4

2. 販売状況

令和8年7月15日現在

用途	区分	6月(トン)	前年比(%)	累計(トン)	前年比(%)
飲用牛乳	全国	247,179	98.1	719,375	97.9
	九州	31,383	96.9	92,855	95.6
はっ酵乳等	全国	36,405	101.7	107,746	100.0
	九州	7,558	107.4	21,983	102.3
特定乳製品	全国	148,904	97.4	501,011	97.2
	九州	3,944	126.4	19,697	122.4
生クリーム	全国	103,599	98.8	318,883	98.9
	九州	1,925	98.6	6,484	96.8
チーズ	全国	38,327	101.6	121,100	104.0
	九州	97	145.2	293	120.3
合計	全国	574,414	98.5	1,768,115	98.4
	九州	44,907	100.7	141,312	99.7

(小数点以下の四捨五入等で合計が一致しないことがあります)

3. 生乳出荷量別生産者戸数 6月

生乳出荷量	戸数
100 t 以上	6戸
80 t 以上 ～ 100 t 未満	戸
60 t 以上 ～ 80 t 未満	7戸
40 t 以上 ～ 60 t 未満	26戸
20 t 以上 ～ 40 t 未満	63戸
10 t 以上 ～ 20 t 未満	36戸
10 t 未満	17戸
合計	155戸
最高出荷量	203t/月
平均出荷量	33t/月

4. トピックス

酪農家の役割!?

毎日の作業お疲れ様です。

突然ですが、私は溪流でのルアー釣り(疑似餌釣り)を趣味の一つとしています。溪流釣りを行える期間は各漁協で決まっていますが、資源を守る為、多くは3月1日から9月30日までとなっています。ということで、只今シーズンの真ただ中です。

溪流で狙うのは「ヤマメ」や「ニジマス」になるのですが、『山女魚＝溪流の女王』というだけあって、中々お目にかかることはできません。でもなぜか足が遠のくどころか、時間を見つけては足しげく県内の溪流へ繰り出しています。

「なぜ、釣れもしない釣りに飽きもせず通っているのか？」

こんな疑問を家人に問われ真剣に考えてみたところ、一つの結論に達し、答えました。

私「釣れなくても楽しいから…。」

家人「は…？」

釣りをしない家人からすれば、釣れない釣りの楽しさなんて想像もできないでしょうが、溪流釣りは釣れなくても楽しいんです。

では何が楽しいのか。それは、清流の絶景、せせらぎ、マイナスイオン、等々。JAビルには無いものがそこにはあるのです。

『溪流釣り＝魚を釣る』というのがもちろん第一の目的ですが、それ以外にも実は多くの効果がある。これは、酪農業にも言えることだと考えています。

『酪農家の役割＝生乳生産』果たしてそれだけか…？
違います。

酪農家は生乳生産を生業としていますが、その為に、畑を耕し自給飼料を作り、生まれた和牛やF1を肉資源として生産します。

すなわち、酪農家がいなくなれば、生乳生産量が減少すると同時に、耕作放棄地が増え、肉資源の供給量が減る。

酪農家は地域の畑を守り、飼料稲を作っていれば田んぼを守り、そして牛肉まで供給している。これがいわゆる、酪農家が当たり前のように担っている大事で大切な多面的機能です。このことは声を大にして訴えていくべきだと考えています。ある市町村によっては、園芸農家が減少する中、地域の畑や田んぼが荒れないように酪農家に支援をする。という事例もあると聞きます。

私は、酪農の理解情勢活動は『酪農家が苦しいから牛乳を飲んで！』と訴えるよりも、『酪農家が担っている役割はすごく大事！』に言い換えてもいいのではないかと考えています。もっと言えば、できた堆肥を畑に還元し自給飼料を作っている完成されたSDGS産業です。

8月末には農林水産省、JA全農酪農部、中央酪農会議と打合せを予定しているので、関係機関と連携し、消費者にズドンと刺さるような情勢活動も協議してこうと思っています。

この記事を読まれている関係各位の方々も是非考えて頂きたい『酪農家の役割！』

皆で声を合わせて消費者へ訴えていきましょう！

酪農課 木下 崇司

第53回 全国酪農青年女性酪農発表大会

第53回 全国酪農青年女性酪農発表大会が、7月9日(木)～10日(金)に沖縄県那覇市の「ロワジュールホテル那覇」にて開催され、全国の各ブロック地域より選ばれた代表者、経営発表の部5名、意見・体験発表の部6名が、経営状況や活動内容・将来の酪農経営などについて熱い思いを発表されました。

経営発表の部では、本県代表の福留寛行さんが九州ブロック代表として出場し、「リフレッシュしながら黒字経営を目指す」というテーマで発表されました。

審査講評では、週休1日制の導入など家族が意欲を持って続けられる働き方改革を実践し、持続可能な経営基盤を整えている点が評価されました。また、繁殖管理の徹底やデータに基づく個体管理、戦略的な暑熱対策など、経営課題に対する的確な取り組みも高く評価されました。



【酪農経営発表の部】

(最優秀賞・農林水産大臣賞)

西日本酪農青年女性会議(岡山県) 長恒 泰裕氏

(審査委員長特別賞)

北海道酪農青年女性会議(浜中町) 牧野 陽太氏

【酪農意見・体験発表の部】

(最優秀賞)

関東甲信越酪農青年女性会議(栃木県) 荒井 芳幸氏



「第23回 令和7年度宮崎県酪農協議会定期総会」について

7月1日(水)に、AZMホール別館202研修室にて「第23回 令和7年度宮崎県酪農協議会定期総会」が開催されました。今回上程された議案は下記の通りです。

第1号議案 令和7年度事業報告及び収支決算書の承認について

第2号議案 規約の改正(案)について

第3号議案 令和8年度役員報酬(案)について

第4号議案 令和8年度事業計画(案)及び収支予算書(案)の承認について

第5号議案 酪農生乳事故共助制度要領の改正(案)について

第6号議案 任期満了に伴う役員の選任(案)について

上記議案については、一部上程内容の変更がありましたが、すべて承認されました。

また、議事の後は来賓でお越しいただいた九州生乳販連 販売部の大久保次長に情勢報告をしていただき、生乳需給を巡る情勢や需給動向について御報告いただきました。

宮崎県酪農協議会は、今年度も乳出荷目標数量62,007tを達成するために、迅速、的確な情報収集を行い、さらには、県内生乳生産基盤の維持・拡大や一般消費者への理解醸成活動、九州各県、全国と連携を図り、酪農経営安定対策と生産者乳価の要求実現に向けた酪農対策の要請等に取り組んでいきます。



令和7年度 家畜共済事業実績(乳牛)

家畜共済による乳牛の補償は生後24か月以上の「搾乳牛」と生後24か月未満の「育成乳牛、子牛、胎子」に区分されます。

搾乳牛

令和7年度は宮崎県内で893頭の死亡・廃用(死廃)事故(前年対比91.2%)、11,829件の疾病・傷害(病傷)事故(同101.9%)が発生しました。この死廃事故に対して約1億5,696万円(1頭平均175,770円)、病傷事故に対して約1億3,569万円(1件平均11,471円)の共済金が支払われました。

～搾乳牛の事故発生状況～

【表1】に、搾乳牛の死亡・廃用事故のうち割合が多い病類・病名の集計をお示しします。病類は、件数が多かった順に運動器病、循環器病、周産期病、が過半数を占めました。運動器病では股関節脱臼が最も多く、関節炎と腰痠(原因を特定できない起立不能症)が続きました。循環器病ではほとんどが心不全でした。周産期病ではダウンー症候群が最も多く、乳熱と産褥熱が続きました。

【図1】に、死廃事故の月別発生状況をお示しします。暑熱期である7月から9月に死廃事故が多く発生する傾向は、ほぼ例年どおりでした。年間の事故頭数は前年度と比べて91.2%と、減少しました。

【表2】に、搾乳牛の病傷事故のうち割合が多い病類・病名の集計をお示しします。病類は、件数が多かった順に繁殖障害、泌乳器病、消化器病が約80%を占めました。繁殖障害では鈍性発情、卵胞嚢腫、卵巣静止が大部分を占めました。泌乳器病では、急性乳房炎が最も多く、慢性乳房炎と血乳症が続きました。消化器病では第一胃食滞が多く、胃腸炎と第四胃左方変位が続きました。

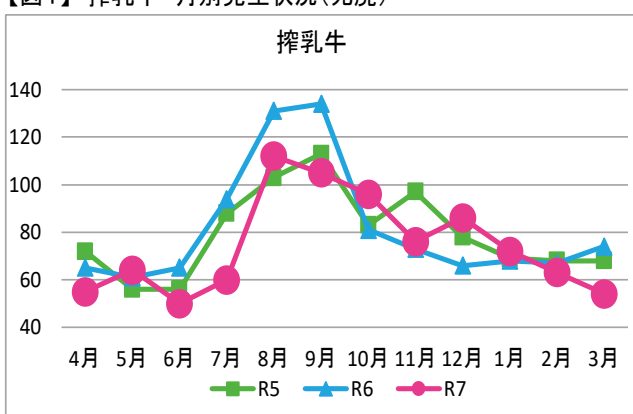
【図2】に、病傷事故の月別発生状況をお示しします。令和6年度と比べて件数に変化はなく、年間を通じて、繁殖障害、泌乳器病、消化器病の発生が見られました。

(令和5年6月と毎年10月に件数が増加していますが、電子カルテシステム移行、保険の切替にともなう事務処理上の理由です。この時期に特に病気が増加する訳ではありません。)

【表1】 乳用成牛 主要病名(死廃)

運動器病	205
股関節脱臼	(89)
腰痠	(22)
筋断裂	(21)
循環器病	193
心不全	(183)
創傷性心臓炎	(2)
後大静脈血栓症	(2)
周産期病	139
ダウンー症候群	(58)
乳熱	(23)
産褥熱	(19)
消化器病	111
泌乳器病	94
その他の病類	151
合計	893

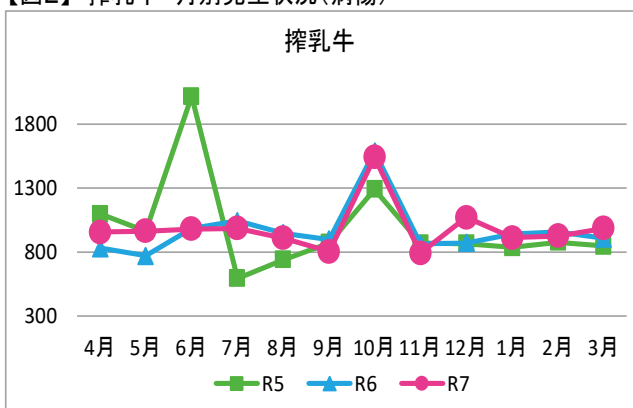
【図1】 搾乳牛 月別発生状況(死廃)



【表2】 乳用成牛 主要病名(病傷)

繁殖障害	5,908
鈍性発情	(3804)
卵胞嚢腫	(820)
卵巣静止	(504)
泌乳器病	1,914
急性乳房炎	(1484)
慢性乳房炎	(206)
血乳症	(118)
消化器病	1,177
第一胃食滞	(465)
胃腸炎	(157)
第四胃左方変位	(95)
運動器病	1,002
周産期病	788
その他の病類	1,040
合計	11,829

【図2】 搾乳牛 月別発生状況(病傷)



育成乳牛・子牛・胎子

育成乳牛・子牛・胎子では、授精後240日以上の子牛から出生24ヶ月未満の育成乳牛の事故を補償することができます。

令和7年度は宮崎県内で177頭の死産事故(前年対比73.4%)、584件の病傷事故(同94.8%)が発生し、それぞれ約724万円(1頭平均40,885円)、約686万円(1件平均11,738円)の共済金が支払われました。

～子牛と胎子の事故発生状況～

【表3】に、育成乳牛・子牛・胎子の死産事故のうち、割合の多い病類・病名をお示しします。病類は、件数が多かった順に新生子異常、消化器病、循環器が大部分を占めました。新生子異常のほとんどは胎子死(いわゆる原因不明の死産)で、母牛死亡に伴うものを含めて死産事故の約90%を占めました。循環器病ではすべてが心不全でした。消化器病では、腸炎が最も多く、急性鼓脹症と腹膜炎が続きました。

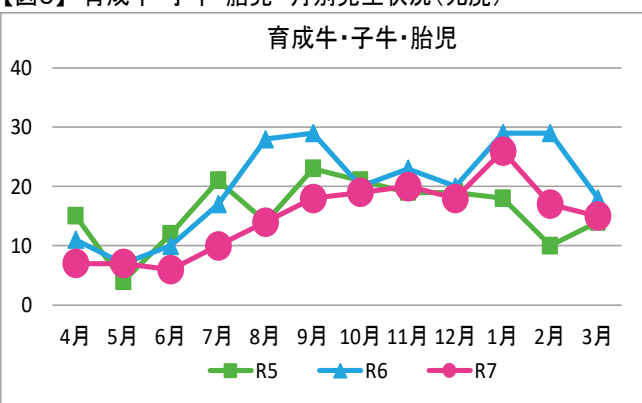
【図3】にお示した子牛の月別死産事故発生状況は、令和5年度と比べてやや減少(年対比93.2%)、令和6年度と比べて大幅減少(前年対比73.4%)となりました。令和7年度の子牛では、暑熱期の事故が大幅に減少しました。しかし、厳寒期(特に1月)の事故はなおも多い状況です。

【表4】にお示した病傷事故の主要病名では、病類で件数が多かった順に消化器病、呼吸器病、新生子異常が大部分を占めました。消化器病では腸炎、呼吸器病では肺炎と気管支炎が大部分を占めました。新生子異常では、新生子呼吸障害と臍疾患の割合が高くなりました。

【表3】 乳用子牛等 主要病名(死産)

新生子異常	88
その他の胎子異常	67
胎子死(母牛死亡に伴う)	9
新生子呼吸障害	3
消化器病	30
腸炎	21
急性鼓脹症	3
腹膜炎	2
循環器病	11
心不全	(11)
呼吸器病	9
運動器病	4
その他の病類	5
合計	147

【図3】 育成牛・子牛・胎児 月別発生状況(死産)



【表4】 乳用子牛等 主要病名(病傷)

消化器病	282
腸炎	(245)
胃腸炎	(10)
臍帯関連腫瘍	(10)
呼吸器病	210
肺炎	(123)
気管支炎	(83)
気管炎	(3)
新生子異常	24
新生子呼吸障害	(7)
臍帯炎	(7)
新生子体温調節障害	(2)
運動器病	15
感覚器病	13
その他の病類	40
合計	584

大切な牛を守るためには良い飼育管理が非常に重要ですが、万が一の事故に備えて経営安定を図るために、子牛・胎子共済を含めた保険加入をお勧めします。

(NOSAI宮崎 家畜課 藤澤 朋也)

令和8年度(前期)審査概況報告について

一般社団法人日本ホルスタイン登録協会 審査委員 塩野雅一

去る7月1日から7月8日まで土・日曜日を除く6日間、牛群審査並びに後代検定体型調査を実施いたしました。4年半ぶりの審査訪問ですが、その間、第64回宮崎県畜産共進会や令和5年度ジャudging・スクール in 宮崎でお伺いしておりましたので、実際には2年半ぶりの宮崎県訪問となります。期間中、梅雨空の中での体型審査となりましたが、期間中大変お世話になりました生産者、JAみやざきの方々をはじめ関係機関の皆様方には心より感謝申し上げます。

■審査・調査頭数が減少

さて、今期日程では都城地域3日間・高鍋地域1日間・西諸地域2日間の計6日間で、合計176頭の審査・調査を実施しました。審査実施概況は「表1」のとおりです。今期実績を前年同期と比較すると、牛群審査+1戸・△17頭、奨励審査△3戸・△17頭、体型調査△4戸・△57頭、SNP体型審査が前年度をもって事業終了となったため△10戸・△42頭となりました。有料(牛群・奨励)審査は、昨年同期にSNP体型審査と奨励審査で受検された方が、SNP体型審査の事業終了により牛群審査に切り替わったことで、牛群審査がプラス、奨励審査戸数がマイナスになったと推察されます。

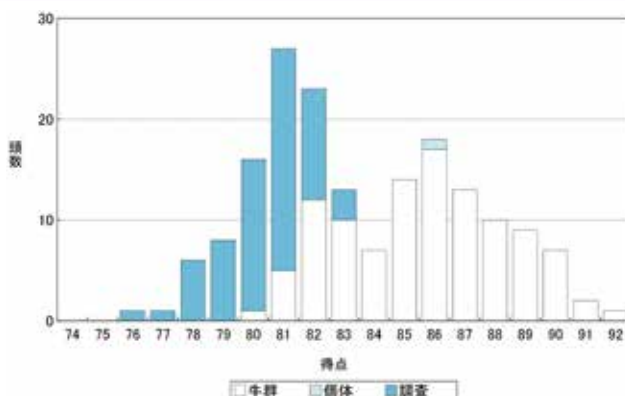
また、体型調査の減少につきましては、令和の酪農危機により離農が加速したことや長引く雄子牛の市場価格低迷の影響により保留される後代検定材料娘牛の頭数が減少したことのほか、猛暑の影響で分娩の時期がズレたこと等の要因により今回調査のタイミングに合致しなかったことが大きな要因となっております。乳用種雄牛後代検定事業に係る体型調査は、国内の改良に寄与する優秀な種雄牛作出のために、後代検定ヤングサイアの材料娘牛とその同期牛の体型記録を収集し、遺伝評価することを目的とする非常に重要な事業でありますので、本事業の趣旨を改めてご理解いただき、今後も引き続きご協力賜りますようお願い申し上げます。

合わせて、審査・調査にご理解とご協力をいただきました皆様方に、本紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。

表1

審査得点分布

		宮崎県																	審査員		塩野 雅一		
	74 以下	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92 以上	計 (平均)			
牛群	0	0	0	0	0	0	1	5	12	10	7	14	17	13	10	9	7	2	1	108 (85.7)			
個体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1 (86.0)			
調査	0	0	1	1	6	8	15	22	11	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	67 (80.4)			
SNP審査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 (0.0)			
口外事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 (0.0)			
計	0	0	1	1	6	8	16	27	23	13	7	14	18	13	10	9	7	2	1	176 (83.7)			



■高得点牛 EX90 以上は 11 頭

「表2」に示したとおり、今回のEX牛(エクセレント)90点以上は11頭で、農家別では今山陽一牧場2頭、榎木敦史牧場2頭、浜崎太一牧場2頭、合同会社石山牧場2頭(うちジャージー種1頭)のほか、前原和明牧場・川野大輔牧場・県立都城農業高校で各1頭となりました。このうち、E評価を更新した牛が4頭で、中でも県内で最高記録となるEX-5Eを獲得した今山陽一牧場の「グローリーナウ テド マダム ブラケン」号につきましては、次章で詳しく紹介させていただきます。また、合同会社石山牧場の「SH 606J ジャガリー チャート アデイ」号は乳用性に富み、幅のある乳房と高い底面を備えた機能的な牛で、県内初のジャージー種EX牛と評価いたしました。

表2

名 号 登録番号(IDNo)	生年月日	父牛略符号	所有者住所 氏名	今回得点 産次 (4 部位得率)
グローリーナウ テド マダム ブラケン 1356242946	H 26.03.15	EX-5E 7H10999	宮崎県都城市横市町5 今山 陽一	94 12-03 10産 (94 92 95 94)
グローリーナウ F テド マダム ミスター・リツク 1601844857	R 1.07.30	EX-2E 29H17503	宮崎県都城市横市町5 今山 陽一	91 6-11 5産 (90 88 91 93)
ネトルツリー チップ タイタン 1593909473	H 30.11.01	EX-2E 7H10920	宮崎県都城市山之口町 榎木 敦史	91 7-08 5産 (91 89 92 92)
ブラチナ TKO サクラント サイト エンゲージ ET 1417853081	R 4.01.23	200H11674	宮崎県都城市関之尾町 浜崎 太一	90 4-05 3産 (89 90 89 90)
HF JP ジェイクス ユニクス ローサ ET 1650411611	R 3.11.06	200H3913	宮崎県えびの市末永2 前原 和明	90 4-08 3産 (90 88 90 90)
SH 641 エレガンス レオ ヤム 1599468769	R 1.12.28	7H12587	宮崎県西諸県郡高原町 合同会社 石山牧場	90 6-06 4産 (89 89 91 90)
ビツグリバートウマー カレン 1596146219	R 1.07.24	250H12805	宮崎県都城市上長飯町 川野 大輔	90 6-11 3産 (91 86 91 91)
TONO ウィットニー ブルーミー 1556646810	H 31.04.17	EX-2E 250H12589	宮崎県都城市祝吉1一 宮崎県立都城農業高等	90 7-02 6産 (92 90 91 88)
SH 606J ジャガリー チャート アデイ J 1585868214	H 30.11.23	29JE3752	宮崎県西諸県郡高原町 合同会社 石山牧場	90 7-07 5産 (89 90 91 0 89)
ネトルツリー スーパーサイア ジャイアン 1564109161	H 30.07.25	7H11351	宮崎県都城市山之口町 榎木 敦史	90 7-11 6産 (89 90 92 90)
ブラチナ BVK マツカチエン アリアナ ET 1371350961	H 29.04.07	7H11477	宮崎県都城市関之尾町 浜崎 太一	90 9-02 6産 (89 89 90 90)

乳牛の遺伝改良は、長きにわたり「血統登録・牛群検定・後代検定」が必要不可欠であり、周期的かつ一体的な事業であるとされておりましたが、今日ではこれらに加えSNP情報を活用した「ゲノミック評価」が必要不可欠なものとなり、改良スピードを加速させ若齢による優良後継牛の確保(選抜淘汰)を可能にしたことで、和牛ETやF1の有効活用など酪農経営における効率性と収益性に大きく貢献しております。一方、ご承知のとおり例え高い遺伝能力を有していても疾病・繁殖などのトラブルにより、その能力を発揮することなく淘汰されるケースは数多く存在しております。このような中、今回EX評価した牛たちは健康で全体に活力があり、機能的な体型と高い泌乳能力を示しておりました。体型のみならず能力においても優秀な成績を有する素晴らしい牛に、そして、EXを獲得された方々の長年の改良の成果と日々の管理技術の高さに心より敬意を表します。本当におめでとうございます。

■県内最高得点 EX94-5E の誕生！

今回、得点・E評価の更新ともに宮崎県史上初となるEX94-5Eを今山陽一牧場の「グローリーナウ テド マダム ブラケン」号が獲得しました。先ずは、この非常に機能的で、長命連産を体現した素晴らしい牛の審査得点記録を「表3」にまとめさせていただきました。

表3 【審査得点記録】

審査日	年齢	外貌と骨格	肢蹄	乳用強健性	乳器	決定得点	EX	体型偏差値
H28. 07. 04	02-03	83	83	81	84	83		140
H29. 07. 11	03-03	85	85	86	86	86		162
H30. 07. 04	04-03	86	88	87	86	87		158
R01. 07. 12	05-03	89	88	89	89	89		171
R03. 12. 06	07-08	90	91	92	94	92		188
R04. 12. 19	08-09	90	90	92	94	92	2E	187
R06. 07. 03	10-03	91	89	93	93	92	3E	187
R07. 07. 02	11-03	92	90	94	93	92	4E	187
R08. 07. 03	12-03	94	92	95	94	94	5E	205

今回審査における「ブラケン」の講評ですが、外貌と骨格は、12歳3か月・10産にもかかわらず体型が全く崩れておらず、胸幅は広く、強い背線と充実した肋腹を持ち、尻は長く、腰角から坐骨に掛けて適度な傾斜で寛の位置は正確、また寛幅・坐骨幅ともに広い幅を有した機能的な骨格構造であります。

次に肢蹄は、前肢が真っ直ぐで、後肢は側望した際の曲がり角が適度な角度となっており、後望した際の飛節および蹄尖の方向はほぼ平行の素晴らしい肢で、蹄はサイズが適度で蹄踵の厚さも非常に好ましいものでありました。なにより、12歳3か月もの間、立派な体躯を支えていることが非常に頑健な肢蹄であることを証明しております。

次に乳用強健性ですが、頸は長く薄く、き甲部はしまりが良く鋭角的で、肋は長く良く開張しており方向も素晴らしいものがありました。また、腿は外腿が平たく適度に充実しており、内腿は薄く乳器に沿うように湾曲しており、皮膚は柔らかくゆとりと弾力があり、乳用性に富んだ牛でありました。そして、強健性においても、先述のとおり十分な胸幅であるなど、12歳3か月という長命性を裏付ける強さを示していることは間違いありません。

4部位の最後が乳器ですが、構造が極めて優れており、前乳房は長く、腹壁に強く付着し、後乳房は付着点が高く、十分な幅を有し抜群の容積を備えております。また、乳頭についても、配置・長さ・太さ・方向ともに申し分なく、非常に機能的でありました。そして、乳房底面は水平で、10産しているにもかかわらず飛節端よりも上方を維持していることは、特筆に値するものでありました。これら素晴らしい乳器構造から、今山牧場に多大なる貢献をしている牛であることは想像に難くありませんが、9産までの生涯乳量が10万kgを超えていること（「資料4」参照）からも、体型だけでなく能力的にも素晴らしい牛であることが証明されております。

表4 【検定記録】

分娩日	年齢	産次	日数	Mkg	Fkg	F%	Pkg	P%	Skg	S%	M偏	F偏	P偏	S偏
H28. 03. 29	02-00	01	274	8,414	247	2.9%	272	3.2%	746	8.9%	126	86	129	128
H29. 03. 03	02-11	02	267	8,422	267	3.2%	274	3.3%	741	8.8%	106	81	110	108
H30. 01. 19	03-10	03	305	10,778	364	3.4%	346	3.2%	941	8.7%	137	116	142	140
			366	12,392	431	3.5%	404	3.3%	1,083	8.7%				
H31. 03. 02	04-11	04	336	11,284	401	3.6%	358	3.2%	971	8.6%	128	115	129	129
R02. 04. 14	06-00	05	305	12,018	396	3.3%	378	3.1%	1,027	8.5%	153	126	156	154
			372	13,758	466	3.4%	443	3.2%	1,181	8.6%				
R03. 06. 25	07-03	06	305	11,211	400	3.6%	352	3.1%	955	8.5%	144	133	147	146
			402	13,993	512	3.7%	449	3.2%	1,197	8.6%				
R04. 10. 04	08-06	07	362	12,645	443	3.5%	405	3.2%	1,080	8.5%	149	131	153	150
R05. 12. 19	09-09	08	287	10,234	362	3.5%	317	3.1%	867	8.5%	132	122	133	132
R06. 12. 15	10-09	09	350	11,945	445	3.7%	397	3.3%	1,019	8.5%	143	139	156	144
9乳期計			3,016	103,087	3,574	3.5%	3,319	3.2%	8,885	8.6%				

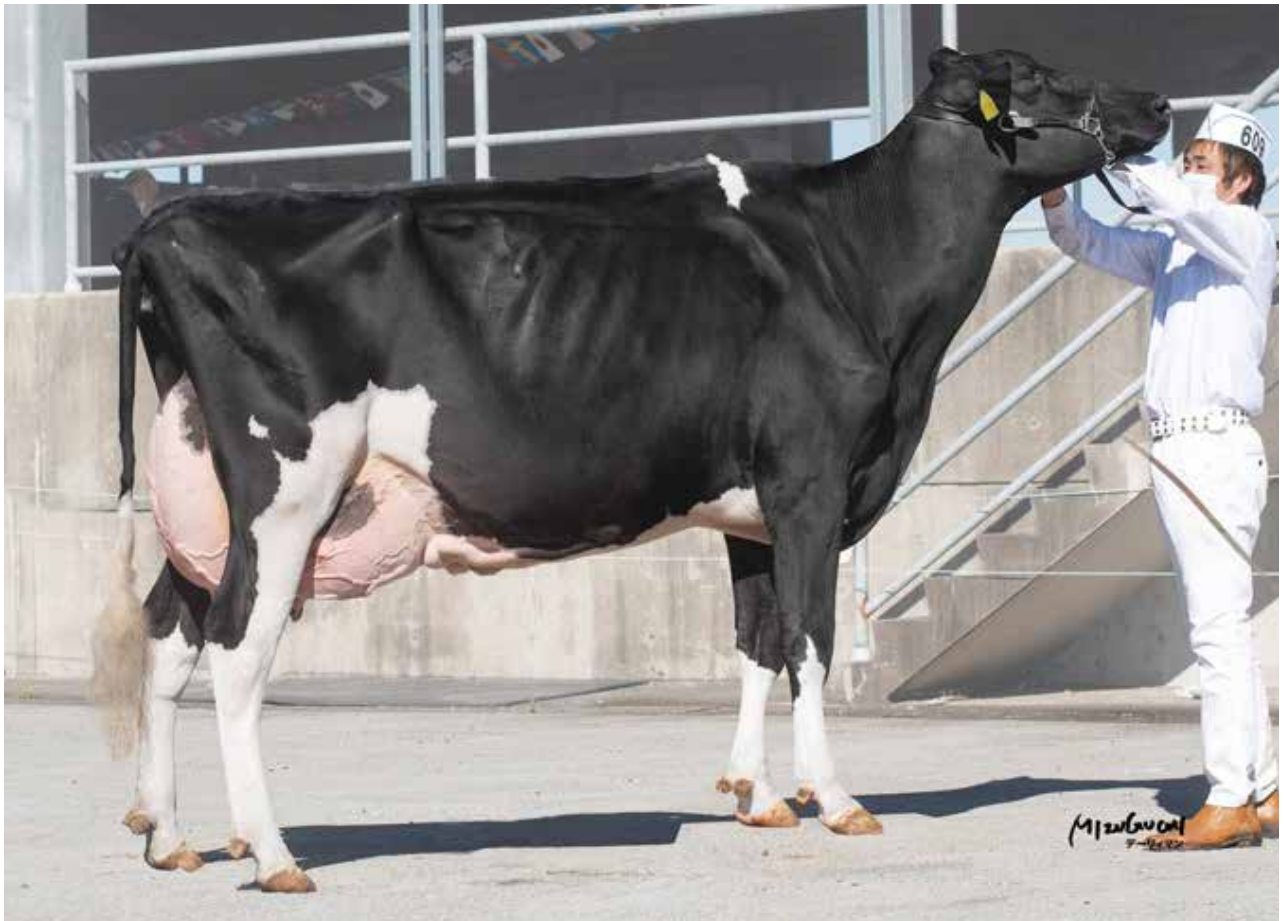
最後に、「ブラケン」の系統がいかに素晴らしいものであるか「表5」により紹介いたします。現在、今山牧場ではこの牛を含め5頭のEX牛を輩出しておりますが、そのいずれも「ブラケン」の直系もしくは傍系となっておりますことを記しておきます。

表5

名 号	生年月日	審査月日	年齢	決定得点	EX	父牛名号	母牛名号	本牛との関係
グローリーナ F ト' マ' ム ブラン	平26. 03. 15	令07. 07. 02	11-03	94	5E	レ・ガ'ンレス GV S プラド' ニツ ET	グローリーナ F ト' マ' ム ゴ' ビー ET	本牛
グローリーナ ト' マ' ム ライン	平28. 03. 30	令05. 07. 03	07-03	90		ユース' ライン ET	グローリーナ ト' マ' ム ブラン	娘
グローリーナ F ト' マ' ム マヤン	平30. 01. 19	令04. 12. 19	04-11	90		ハ' ス' プラド' アマン ET	グローリーナ ト' マ' ム ブラン	娘
グローリーナ F ト' マ' ム ミス' マリツ	令01. 07. 30	令07. 07. 02	05-11	91	2E	ヘ' ソ' マ' マリツ	グローリーナ ト' マ' ム ゴ' ビー' チェン	姪
グローリーナ ト' マ' ム ライン' ギ' イェン'	令01. 10. 04	令06. 12. 12	05-02	90		ミス' D アツ' マ' ギ' イェン' バツ	グローリーナ ト' マ' ム ライン	孫

巡り合わせの妙と思われますが、4年半前に初めて宮崎県を審査訪問した際、この牛をEX92(前回89点)と評価いたしました。そして今回、宮崎県初のEX94-5Eと評価する機会をいただけたことは誠に光栄なことであり、私自身にとっても初の決定得点93点以上となりました。今回の結果は、この牛が持つ素晴らしい資質ということだけでなく、畜主である今山陽一氏の飼養管理への並々ならぬ努力の結実でもありますので、牛・畜主両者に対し衷心より敬意を表する次第であります。

第63回県共
令和3年11月27日開催



■終わりに

酪農を取り巻く情勢は、子牛価格の回復など明るい兆しがある一方、常態化と言って良いほどに長引く円安と不安定な中東情勢の影響により、配合飼料や燃油をはじめとする酪農生産資材の価格高騰、また全国的な経産牛頭数減少に加えて、世界的規模の気候変動による異常な猛暑など、今後も厳しい状況への対応が求められています。このような状況下ではありますが、当協会は酪農家の皆様の経営の一助となれるよう努めて参りますので、今後も血統登録や牛群審査・体型調査など各種事業にご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、宮崎県の酪農の益々のご発展を祈念申し上げまして、簡単ではございますが令和8年度前期審査の概況報告とさせていただきます。

農学部 ナンノ教授のひとりごと

国際動物繁殖学会

南野 快

今年6月22日からの5日間、北海道帯広市で第20回国際動物繁殖学会が開催された。この学会は4年に一度、世界のどこかで開催される学会で、今回は日本初、アジア初の開催となった。

50を超える国々から、動物繁殖の専門家が1000人以上集い、それぞれの研究発表をして情報交換、意見交換をした。人口16万人足らずの地方都市にこれだけ多くの国の人々が集まることはそうそうなく、メイン会場となった「とかちプラザ」のスタッフも「この建物の中にこれだけの人が入っているのは記録的なことです。」と、嬉しそうに話してくれた。学会期間中は毎晩、市内の居酒屋が国際色豊かな客で溢れていた。

国際学会での公用語は英語だが、開催前日に日本語による「ウシ繁殖セミナー」を、開催初日の開始直前に日英2言語の同時翻訳字幕ソフトを用いての「プレシンポジウム(ウシとウマの繁殖について、それぞれ別会場)」が企画された。本大会では基調講演、シンポジウムの他、多くのワークショップが平行して行われ、どれも活況を呈した。また、非常に多くの一般発表演題の登録があったため、3日間にわたるポスター発表は総入れ替え制で、各自の発表時間は30分と短かったものの、見に来る人数も多いために混雑して人混みを通り抜けるのも一苦労するほどで、主催者としては嬉しい悲鳴だった。

6月は梅雨時ではあるが北海道に梅雨はなく、しかも「十勝晴れ」という言葉もある通り、晴天が続くことを予測した。ところが蓋を開けてみると、この期間(この週)に限って雨の日が多かった。それでも水曜と木曜は晴れてくれ、特に水曜午後はソーシャルイベントで外出日となっていたことから、幸運だった。とは言うものの、水曜朝には地震があり、しかも比較的長い時間(1分以上?) ゆっくりと大きく揺れたこともあり、その地震を感じた時には「ちょっとヤバいかも」と思ったほ

どだ。日本人の私でさえそう思ったのだから、地震をほとんど経験したことがない国から来た人達は、かなりびっくりしたことだろう。また、珍しく2つの台風が同時に本州に向かっているという予報もあり、海外からの参加者はもちろん、私自身も無事に帰路につくことができるかが気になったものの、結果的には欠航も大きな混乱もなく、ホッとした。

ということで、学会は大成功に終わった。この準備のために何年にもわたって尽力してきた関係各位に心から敬意を示したい。そして、十勝の自然と地元の人々、特に帯広市街のアイリッシュパブのマスターとスタッフには、深夜まで飲んで大騒ぎする大勢の学会参加者を暖かく迎えてくれたことに対して感謝感激の思いだった。

本稿執筆後に令和8年熊本地震が発生しました。被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。



写真 大学本部前に咲くサルスピリの花。幹の樹皮がつるつるして猿でも滑ってしまうという意味の和名だが、紅い花が100日間咲き続けることに由来して漢名では百日紅と書く。ひとつの花は1日で散ってしまうものの、次々に蕾が開花するので樹木としての開花期間は約3ヶ月となる。(前号7月号の写真説明にて「JR日南駅前に咲くハイビスカス。」と書きましたが、正しくは「JR南郷駅前...」でした。お詫びして訂正します。)

全酪連初生牛預託事業のご案内

- ・「仕事が多すぎて、子牛の面倒を十分に見てあげられないんだよね。」
- ・「子牛の病気や治療が多くて困っているんだよね。」

こんな悩みをお持ちの酪農家の皆さん、全酪連の初生牛預託事業を利用してみませんか？



全酪連若齢預託熊本牧場（菊池市泗水町）

～牧場風景～



【預託事業に関するお問い合わせは】
全酪連 福岡支所 畜産課 まで
092-431-3447
お気軽にご相談ください。

【全酪連初生牛預託事業とは？】

皆様の乳用種初生牛(雌牛)を概ね生後4日齢～1カ月齢でお預かりし、
全酪連若齢預託熊本牧場にて6～8カ月齢まで哺乳・育成いたします。

※対象牛は、健康な乳用種初生牛(雌牛)です。

(肺炎、下痢等の疾病等のある子牛はお預かりできません。)

※哺育期間は、全酪連「強化」哺育・育成体系で管理いたします。



代用乳製品

生まれた子牛は強化哺育®にお任せください!!

ホルスタイン雌子牛 強化哺育®用



全酪連は2005年1月に搾乳後継母牛のための「強化哺育®」・育成体系を発表、強化哺育®用代用乳「カーフトップEX」を供給してまいりました。以来、全国各地でご利用いただき、子牛の発育と健康面における大幅な改善、初産分娩の月齢短縮や体格向上、初産乳量増加などの好結果に絶大なご支持を賜ってまいりました。全酪連・酪農技術研究所では、自家産の雌牛を対象に、哺育体系の違い（「標準体系」vs「強化哺育®」）を比較するための飼養試験を1998年より継続してまいりました。これまでの5年間のデータを哺育期・育成期・初産乳期について集積・比較した結果を要約すると、初産分娩月齢は22.3ヶ月ではほぼ同一、初産分娩後体重は強化哺育®区が596.2kgで+23.7kg、初産乳期乳量は強化哺育®が9,682kgで標準より+822kgという結果でした。

和牛・F1子牛 強化哺育®代用乳



強化哺育®の効果を和牛子牛やF1子牛に応用するために「カーフトップEXブラック」を開発、2007年夏より供給開始し、全国の肉用素牛の体格を大幅に改善して注目されております。肉用素牛においても、強化哺育®によって、過肥にならず、フレームサイズが大きく、飼料摂取に優れた育成管理が重要であり、全国で自動哺乳機による和牛・F1子牛強化哺育®事例が普及しつつあります。「カーフトップEXブラック」は、ホルスタインよりも生時体重の小さい和牛やF1子牛のエネルギー充足を満たすためにエネルギー濃度を上げ、更に粉末初乳を加えて便スコアの改善を考慮しています。



全酪連の購買製品カタログ(全国版)はこちら
代用乳・配合飼料・添加物・酪農・畜産機材類 掲載

地域によって、取扱いがない製品もございます。
詳しくは各支所へお問い合わせください。

福岡支所 TEL 092-431-8113 FAX 092-431-8355
南九州事務所 TEL 0986-62-0006 FAX 0986-62-0193

フレーク&ペレット

➤ 乳配M

- CP 17.0%・TDN 72.0%
- ハイキューブ、綿実、ビートパルプを多く配合したミックスタイプ



➤ 乳スタンダード

- CP 17.0%・TDN 74.0%
- ローコストでベーシックな搾乳牛用配合飼料



➤ 乳ブレンド18

- CP 18.0%・TDN 74.5%
- 綿実・ビートパルプを多く配合



マッシュタイプ

➤ デイリープレミアムM

- CP 17.0%・TDN 74.5%
- バイパス蛋白配合
- ビタミン・ミネラル強化



➤ パワーSマッシュ

- CP 17.0%・TDN 74.5%
- シンプルな内容で低コストを実現

